

## <第 29 回環境化学討論会 大阪 「優秀発表賞」について>

(講演登録時にエントリーが必要です)

優秀発表賞は、第 20 回環境化学討論会(熊本 2011)から実施・継続されてきましたが、運用が統一されておらず、参加者に分かりにくい状況にありました。そこで優秀発表賞は、学会の他の表彰制度との整合性を図り、一貫した運営を目指すため、今回から統一した応募資格や選考方法を試行しています。最新情報は討論会ホームページ等でご確認ください。

### 応募資格

発表をおこなう学生会員(会員資格が必要)

① 博士後期課程  
(博士)学生

② 博士前期課程  
(修士)学生

③ 学部学生・  
短大生・高専生

- 応募者全員の選考用ファイルを Web システムにアップロードし、審査員による審査を実施します。口頭発表(会場参加)で優秀発表賞にエントリーする学生会員の方は、別途、選考用ファイルとして MP4 ファイル(10 分以内、500 MB 以内)を作成し、Drop Box への提出をお願いします(提出期限:5 月 21 日)。その他の発表方法の学生会員の方は、発表用に提出いただいた MP4 ファイルを選考用ファイルとして使用させていただきます。
- 講演要旨による予備審査はありません
- 日本語または英語の発表いずれも受け付けます
- 審査員による審査(口頭発表での審査は無し)
- 受賞者には賞状および副賞が授与されます。
- 英国王立化学会(Royal Society of Chemistry)賞、SETAC Japan 賞および企業の冠賞も併せて実施します

### 選考の流れ

- 講演登録で「優秀発表賞」にエントリー (4月5日締切り)
- ↓
- 応募者は選考用ファイルを準備(講演要旨の予備審査はありません)
- ↓
- 選考用ファイルによる審査
- ↓
- 審査結果の発表(6月3日 17:00 頃:学会 2 日目受付付近と討論会 HP に掲載)
- ↓
- 受賞者の表彰(6月4日 10:45~:学会 3 日目ハイライトセッション時に表彰)

### 選考方法

審査員は環境化学分野を専門に活動している著名な学会員に依頼する予定です。優秀発表賞の選考基準は以下の通りです。下記の選考基準を総合的に勘案して評価します。

意義: 研究の重要性, 解決すべき課題, 研究目的は明確か。

1. 内容: 研究方法, 得られたデータの量と質は十分か. 新規性はあるか.
2. 考察: データに基づいた考察を適切に行っているか. 得られた結論は妥当か.
3. 素材: ポスター・スライドの図表は綺麗か, 文字の大きさは適切か.
4. 発表態度: 声の大きさ, 話すスピードが適切か. 図表を指しながら説明しているか.
5. 質疑応答: 質問に対して的確に回答しているか.

注) 環境化学討論会の実行委員会で企画する「優秀発表賞」は、日本環境化学会の表彰規定の「環境化学会賞」とは主旨・規準等が異なりますが、今後は整合性を取りつつ進めていきます。